

INSTITUTE OF SOCIOLOGICAL RESEARCH DAITO BUNKA UNIVERSITY
大東文化大学社会学研究所所報

No.1 2020年3月

目次

所長巻頭言 所長 中野 紀和	1
社会学研究所の活動報告(2019年度)	2
マンガ・ビジュアル研究会 活動記録	3
研究員の活動報告	4
研究員紹介	10

社会学研究所の開設と1年目を終えて

社会学研究所所長 中野紀和

平成から令和へと変わる年に大東文化大学社会学研究所はスタートした。その前年に社会学部が新設されたことに伴う、研究・教育活動を充実させるための新たな研究機関である。とはいえ、研究所スペースと備品の整備、日々の業務を担ってくれるアルバイトの方の確保等、前期は態勢づくりに終始した。年間計画やさまざまな業務がルーティン化するまでには、もう少し時間がかかりそうだ。ここで社会学研究所の目的を確認しておきたい。

研究所は、社会に関する理論的研究及び実証的調査研究を行い、その研究の成果をもって広く社会の発展に寄与することを目的とする。

研究、調査、社会への貢献は研究所の大きな目的であるが、教員の側は学生の教育・指導に加え、新設学部ゆえの膨大な業務に埋もれそうになる。そんななかで、知的刺激を得るための場の提供、研究環境づくりは研究所の大きな役割の一つである。初年度は、外部講師による3回の研究会を開催することができた。香港、中国、日本のフィールドで活躍される講師の方々から、ジェンダー、メディア、権力、語り、といったキーワードを軸に、現代社会の多面性を学ぶ機会となった。これらの研究会を実現できたのは、本研究所の研究員のネットワークのおかげである。研究会を結節点として、新たな知的ネットワークが広がることを期待したい。

内なる知的つながりも形成された。「マンガ・ビジュアル研究会」の発足である。発足以来、活発な活動を展開している。今後、この活動が大きく育つと同時に、同様の知的つながりの芽が生まれることを願ってやまない。研究員の活動は『社会学研究所紀要』に反映されている。創刊号には6本の論考と1本の報告が寄稿された。本研究所は、社会学者のみならず多様な専門分野の者から成る。社会学理論やメディア研究、政策や情報教育といった本研究所および社会学部の特色を示す論考が並ぶ。異なりつつ、重なりあい、まさに共生している。創刊できたことに感謝したい。

2年目となる2020年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年である。これまで日本でサッカーのワールドカップや万国博覧会が開催されると、社会学の分野からはイベントを通して社会を分析する多くの書籍や論考が刊行されてきた。本研究所の活動においても、なんらかの貢献ができればと考えている。

2019年度 社会学研究所活動

運営委員会

2019年4月11日 第1回運営委員会

5月9日 第2回運営委員会

9月19日 第3回運営委員会

10月31日 第4回運営委員会

11月7日 第5回運営委員会

2020年1月9日 第6回運営委員会

研究会

7月18日 第1回研究会；中野嘉子氏

「敗戦国日本へのまなざしー太平洋線就航と着物姿の「スチュワーデス」ー」

10月17日 第2回研究会；張豊氏

「中国メディアの現在：希望から絶望へーある中国紙の20年を振り返ってー」

11月7日 第3回研究会；池上賢氏

「“彼ら”がマンガを語った後ーマンガ経験研究の成果と今後の展開ー」

研究部会

2019年6月13日 第1回研究部会

11月14日 第2回研究部会

2020年1月23日 第3回研究部会

刊行物

2020年3月 『社会学研究所紀要』、『社会学研究所所報』発行

2019年 マンガ・ビジュアル研究会 活動記録

本研究会は、2019年5月に表象文化研究会（仮）として社会学研究所に設立申請を行い、同年6月に発足致しました。以下に、2019年6月からの活動記録を記載致します。

2019年6月25日 第1回 表象文化研究会（仮）ミーティング実施

- ・研究会名称：「マンガ・ビジュアル研究会」に決定
- ・夏期休業に入ることから、後期からの活動を行うこととした

2019年9月17日 第2回 マンガ・ビジュアル研究会ミーティング実施

- ・社会学研究所の研究会講師について意見交換
- ・近藤和都氏研究レビュー
「機動戦士ガンダム」をめぐるメディアフロー積層性
『アニメの社会学（仮）』ナカニシヤ出版に掲載予定の研究著書を題材に提供

2019年11月7日 社会学研究所研究会参加

報告者：池上賢氏（立教大学社会学部メディア社会学科 助教）
発表タイトル：“彼ら”がマンガを語った後—マンガ経験研究の成果と今後の展開

2019年11月12日 第3回 マンガ・ビジュアル研究会ミーティング実施

- ・スチュワート・ロナルド・ジェフリー氏研究レビュー
マンガシンポジウム（大英博物館 2019年8月）プログラムの紹介、写真・冊子紹介
北沢楽天について

2019年12月9日 第4回 マンガ・ビジュアル研究会ミーティング実施

- ・社会学研究所 調査研究費及び図書費について検討
- ・次年度イベントの検討
- ・井島由佳氏研究レビュー
学生アンケート「人生や生活に影響を与えたマンガ」結果集計途中

以上が発足から12月までの活動記録となります。年度終了は2020年1月と予定し、次年度について検討していきます。

尚、社会学研究所紀要（創刊号）に研究会メンバー数名が投稿予定となります。

■マンガ・ビジュアル研究会メンバー（敬称略）

馬場靖雄、スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋剛、近藤和都、井島由佳

研究員の活動報告

阿部 英之助

【活動報告】

神奈川県旭丘高校「第23次旭丘全学教育研究集会」共同研究者（2019年1月25日）

鶴岡市市政報告会：活動報告「大東文化大学社会学部による鶴岡夏合宿について（2019年2月8日）

藤島歴史公園「Hisu 花」活用ワークショップ ファシリテーター（7月26日・8月23日・9月14日・11月23日）（山形県鶴岡市）

【メディア掲載】

「荘内日報」（2019年9月13日）

【委託調査】

「令和元年度長沼・八栄島地区地域公共交通導入に向けた調査業務」（山形県鶴岡市）

「令和元年度 藤島ふれあいセンター隣接普通財産新利活用策調査・検討業務」（山形県鶴岡市）

香川 めい

【日本語論文】

香川めい「労働時間シフトとワーク・ライフ・バランス——『社会生活基本調査』を用いた類型の試み」『社会科学研究』, 第70巻第1号, pp.97-113, 2019.

荒牧草平・香川めい・内田康弘「高校教育研究の展開——学校格差構造から多様なリアリティへ」『教育社会学研究』第105集, pp.139-168, 2019.

【学会発表】

香川めい「浪人経験は報われたのか——職業キャリアとの関係から」『日本教育社会学会』第71回大会、東京（大正大学）2019年9月13日.

Kagawa, Mei, Hirofumi Taki, "Japanese NEETs: Labor Market Entry Patterns, Birth Cohort and Gender Differences", 27th ANNUAL WORKSHOP TRANSITIONS IN YOUTH, Maastricht, the Netherlands (Select Hotel Apple Park Maastricht), October 5, 2019.

川野 幸男

【和文論文】

川野幸男「入管法改正と地域社会—板橋区への示唆」『板橋区における多文化共生をめぐる現状と課題』大東文化大学・板橋区地域デザインフォーラム, ブックレット No.27, 2019年.

【論文】

周東美材「「子ども」という自画像——水の江瀧子からみる1930年代の国家意識」藤
薫編著『近代日本における〈国家意識〉形成の諸問題とアジア——政治思想と大衆文化』
勁草書房, pp179-202, 2019年.

【学会発表・シンポジウム】

周東美材・宮本隆史・高嶋朋子「学生問題研究所資料のデジタル・アーカイブ化事業に
ついて」東京大学大学院情報学環・東京大学文書館シンポジウム「学生たちの戦
後—矢内原忠雄と東大学生問題研究所から見た1960年安保前後の大学生像」（東
京大学）2019年3月11日.

周東美材「童謡の変容——詩・音楽・レコード」幼児音楽研究会第145回例会（東京
家政大学），2019年9月15日.

首藤美香子・周東美材・浅井幸子・長井覚子「シンポジウム：子どもの遊びが生まれる
とき——よみがえれ、文化の力」幼児教育史学会（白梅学園大学）2019年12月7日.

【講演】

周東美材「金の船創刊100年（上野の森ブックフェスタ）」東京都美術館，2019年5月5日.

周東美材「童謡はどのように生まれたのか——『赤い鳥』『金の船』のころ」鳥取童謡・
おもちゃ館わらべ館，2019年11月9日.

【ラジオ】

周東美材「私の日本語辞典」NHK 第2，2019年9月7日，14日，21日，28日.

【CD 監修・解説】

周東美材『金の船・金の星——雨情・晋平・長世の世界』日本コロムビア，2019年
7月17日.

【報告】

周東美材「童謡の変容——詩・音楽・レコード」『幼児音楽研究』第66号，pp22-25, 2019
年秋号.

【大学入試試験問題採用】

周東美材「2019年度入学試験 国語」摂南大学，2019.

周東美材「2019年度入学試験 国語」学習院女子大学，2019.

【大学入試対策問題集採用】

- 周東美材「平成29年弘前大学「国語」入学試験問題」『ジャンル・作者別 現代文精選問題総覧平成29～31年度版（書籍版）』明治書院, 2019.
- 周東美材「名大実践テスト②」『名大国語2019』代々木ゼミナール, pp54-61, 2019.
- 周東美材「2019年度公募制推薦試験 A 日程適性検査問題」『摂南大学2019年入学試験問題集』摂南大学, 2019.
- 周東美材「2019国語」『学習院女子大学一般入試ガイド』学習院女子大学, 2019.
- 周東美材『2020-21年版大学入試シリーズ 摂南大学（法・外国語・経済・経営学部）（理工・薬・看護学部）』世界思想社教学社, 2019.
- 周東美材『2020-22年版大学入試シリーズ 学習院女子大学』世界思想社教学社, 2019.

近藤 和都

【日本語論文】

- 近藤和都「オフ・スクリーンの映像文化史——大正・昭和期の複合施設型映画館」光岡寿郎・大久保遼編『スクリーン・スタディーズ——デジタル時代の映像／メディア経験』東京大学出版会, pp.127-147, 2019.
- 近藤和都「統制の映画配給——戦時下日本におけるメディア・インフラストラクチャーの再構築」遠藤薫編『日本近代における〈国家意識〉形成の諸問題とアジア——政治思想と大衆文化』勁草書房, pp.204-228, 2019.
- 近藤和都「神戸における新聞読者の映画経験——無声映画時代からトーキー移行期の映画館情報」板倉史明編『神戸と映画——映画館と観客の記憶』神戸新聞総合出版センター, pp.112-130, 2019.
- 近藤和都「スクリーンの「移ろいやすさ」を制御する——戦時下日本の映画上映をめぐる規格化の諸相」『社会学評論』, 69巻4号, pp.485-501, 2019.
- 近藤和都「“戦ふ映画館”——戦時下のオフ・スクリーン」岩本憲児・晏妮編『戦時下の映画——日本・東アジア・ドイツ』森話社, pp.53-76, 2019.

【学会・シンポジウム報告等】

- 近藤和都「映画館における「声」と「文字」——1910-20年代の都市空間における興行モード」International Symposium/Talking Silents: New Approaches to Early Japanese Cinema and the Art of the Benshi (UCLA) 2019年3月2日
- 近藤和都「アニメブームのメディア経験——『機動戦士ガンダム』をめぐる放送格差と雑誌読者」第92回日本社会学会大会（東京女子大学）2019年10月5日
- 近藤和都「歴史のなかのスクリーン・プラクティス——日本における研究動向」公開シンポジウム／宗教映画とスクリーン・プラクティス（神戸映画資料館）2019年11月16日

【講演】

近藤和都「歴史資料からたどる映画館と観客の文化史」板橋区公文書館体験講座・見学ツアー
／資料が語る昭和の家族と文化（板橋区公文書館）2019年7月27日

【その他】

近藤和都「映画史・メディア史の叙述を更新するために」『図書新聞』3412号,2019年8月17日

スチュワート ロナルド

【論文】

Stewart, R, "Itō Hirobumi's Nose: Syphilis in Early 20th Century Japanese Cartoons." *International Journal of Comic Art (IJOCA)*, Vol.21 No.1 (Spring/Summer), pp.1-27, 2019.

【学会発表】

スチュワート R「明治後期諷刺漫画における「国民」「人種」ヒエラルキーの構築：西洋風刺漫画のステレオタイプとシンボルの分析を中心に」（テーマセッション：ステレオタイプにおける社会とマンガ研究）第9 2回日本社会学会大会（東京女子大学）2019年10月5日

Stewart, R. "Kitazawa Rakuten and the Dawn of Contemporary Manga." *What is Manga? Exploring Japanese Visual Narratives* (Symposium in connection with "Citi exhibition Manga" at the British Museum.) British Library, Knowledge Centre, August 23, 2019.

【その他】

(展示会の発案、キュレーター、翻訳、開会式の司会者と通訳者)

Stewart, R. (Curator, translator) *The Other Manga: It Bites! Japanese Newspaper Cartoon Satire* Exhibition. An exhibition in two parts. 'Part 1) Kyodo News Cartoon: the year 2018 in review.' 'Part 2) Fukushima's 3.11 Disaster Picture Diary: eight years of recovery.' With cooperation of Jim Bridges and The Australian Cartoon Museum, and support from the Australasian Humour Scholars Network. Swanston Library, Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT) University, Melbourne, Australia. 5 February ~ March 10, 2019.

(パネルのコーディネーター、司会者)

Stewart, R. (Chairman) 'PANEL: Perspectives on Japanese Political Cartooning Past and Present: Censorship, Freedom and Expression.' Australasian Humour Scholars Network (AHSN) 25th Conference, Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT) University, Melbourne, Australia. February ~ March 10, 2019

(図録解説)

スチュワート R「新聞風刺漫画としての「震災絵日記」：特別な存在」、朝倉悠三（描）『東日本震災・原発事故の被災を描き続けた風刺画「震災絵日記」』福島民報社、
2019年5月 (ISBN:978-4-904834-47-3) pp.237-241

(展示会翻訳)

スチュワート R (キャプションとニュース背景翻訳)「共同通信配信 第13回しおどめ発 世相

漫画展)、(汐留メディアタワー3階ギャラリーウオーク), 10月1日~30日(水)
(コメンテーターとディスカッサント)
シンポジウム「メキシコの知られざる大衆漫画「イストリエタ」—民俗文化としての漫画表現—」(京都国際マンガミュージアムと国際日本文化研究センター共催) 京都国際マンガミュージアム、2019年12月7日・8日
(報告)
スチュワート R. 「「震災絵日記」 in オーストラリア」『EYEMASK (アイマスク)』第59号2019年12月 (ISBN:978-4-909821-05-8) pp.58-63

【講演】

スチュワート R. 「報道と漫画」、展示会「「報道と漫画—世界のカーツニストが描く“表現の自由”—」講演会、京都造形芸術大学、2019年12月22日

鶴田 隆史

【書籍】

(共著) 鶴田佳史「環境ビジネス」田中信弘・佐久間信夫編『[改訂版] CSR 経営要論』創成社, pp.333-346, 2019.

【基調講演】

平成30年度環境カウンセラー研修(関東地区)全体研修「SDGsの視点を踏まえた持続可能な地域づくり『地域循環共生圏の創造』」国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟, 2019年1月15日

中野 紀和

【論文】

中野紀和「災害被災地における『集落』再生の取り組み—長野県北部地震の栄村小滝における『歴史』—」『経営論集』第37号 大東文化大学経営学会 pp.163-178, 2019.

野嶋 剛

【書籍】

和書
(共著) 国籍問題研究会『二重国籍と日本』筑摩書房, 2019.10
(共著) 倉田徹・倉田明子編『香港危機の深層』東京外大出版会, 2019.12
中国語書籍
野嶋剛『漂流日本：失去故郷的臺灣人』游撃文化, 2019.3

【講演・発表】

野嶋 剛「偽情報対策に動き出した台湾の政治とメディア」ファクトチェックセンターセミナー講演, 2019年6月23日

野嶋 剛「ソフトパワーが変える台湾のイメージ」国際シンポジウム『変容する現代台湾政治・社会意識の変化とソフトパワーの魅力（アジア調査会）, 2019年8月22日

野嶋 剛「日本史上首位従軍記者岸田吟香觀察的牡丹社事件--臺灣與近代媒體的相遇」南國與萬國的交會：全球史視野下的羅妹號、牡丹社事件與十九世紀澎湖地方社會國際學術研討會（屏東县政府）, 2019年11月23日

野嶋 剛「台湾の人々を悩ませる国籍行政」シンポジウム「国籍ってなんだろう」（国籍問題研究会）, 2019年12月8日

野嶋 剛「香港の混乱と台湾で高まる対中警戒感—総統選挙への影響」（霞山会講演会）, 2019年12月9日

山口 みどり

【翻訳】

L・ダヴィドフ、C・ホール著／山口みどり・梅垣千尋・長谷川貴彦訳『家族の命運——イギリス中産階級の男と女 1780～1850』名古屋大学出版会, 2019年.
ISBN:4815809550

【書評】

山口みどり「書評 中田元子著『乳母の文化史』」『図書新聞』3406, 4, 2019年7月.

【合評会応答】

山口みどり・梅垣千尋・長谷川貴彦「（合評会）L・ダヴィドフ／C・ホール著『家族の命運』（名古屋大学出版会、2019年）を読む」歴史と人間研究会2019年度シンポジウム〔第270回例会〕（一橋大学）2019年12月15日.

【講演】

山口みどり「国教会の危機を救え——教会と共に生きた19世紀イギリスの「牧師の娘」たち」川越基督教会 春のシンポジウム（川越基督教会）2019年6月2日.

研究員紹介

所 長 中野紀和
部 会 長 川野幸男
専任研究員 阿部英之助 井島由佳 植野一芳 小野田竜一 香川めい 川野幸男
上地宏一 北澤恒人 小湊浩二 近藤和都 周東美材 塚本正文
スチュワート・ロナルド・ジェフリー 鶴田佳史 中野紀和 野嶋 剛
馬場靖雄 飯塚裕介 八木原大 山口みどり
客員研究員 張 豊

大東文化大学社会学研究所所報 No.1

2020年3月31日発行

編集発行・印刷 ©大東文化大学社会学研究所

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

Tel:(03)5399-7394